

News Flash 原子力規制庁によるリサイクル燃料備蓄センターの適合性確認の審査が進められております

**当社としては、現状の設備で
新規規制基準に適合しているものと評価**

新規規制基準に基づき、リサイクル燃料備蓄センターの適合性評価を行った結果、当社としては、新たな追加工事等を行わなくとも、現状の設備で新規規制基準に適合しているものと評価しております。

当社は、昨年12月に施行された新たな規制基準に基づく、適合性確認の審査を受けるため、本年1月に、「事業変更許可申請書」を原子力規制委員会に対して申請しました。なお、当社の希望として、事業開始日は「平成27年3月」と設定しております。

現在、事務局である原子力規制庁によって、申請した内容等の審査が概ね毎週1回の頻度で進められております。今後とも審査が円滑に進むよう、真摯に取り組んでまいります。

★新規規制基準の主なポイント、適合性に対する考え方は次の通りです

これまでの基準に追加された項目	<ul style="list-style-type: none"> リサイクル燃料備蓄センターへの不法な侵入等の防止
これまでの基準から強化された項目	<ul style="list-style-type: none"> 基本的安全機能（使用済燃料の誤った装荷を防ぐことを追加） 放射線管理施設等（モニタリングポストの設置等が追加） 廃棄施設（放射性廃棄物の貯蔵施設を設けること等が追加） 外部からの衝撃による損傷防止（竜巻、火山を新設） 地震、津波による損傷の防止

RFSの評価概要

昨年までに設置した施設・設備で適合しているものと評価

最新の知見等を踏まえて評価を実施

★地震・津波等の評価を下記の通り行いました

項目	主な評価結果
地震動	最新の知見等を考慮した結果、建屋に大きな影響を及ぼすことはないと評価しました。
津波	東北地方太平洋沖地震津波の知見を反映した結果、施設へは到達しないと評価しました。
竜巻	地域内の過去最大竜巻を設定し、設備に与える影響の評価等を行い、建屋の健全性が維持されると評価しました。
火山	施設周辺の火山について、検討を行なった結果、火砕流等が影響を及ぼす可能性が十分小さく建屋の安全上問題がないと評価しました。

菜の花フェスティバルに参加(5/17~5/18)

去る5/17~5/18(土~日)に横浜町で開催されました「菜の花フェスティバル」に当社は、子供向けのストラックアウトのブースを出店し、たくさんの子供達に楽しんでいただきました。

また、18日に行われたマラソン大会では、県内外からたくさんの方々にご参加され、当社からは、4名の精鋭が10キロの部に挑戦しましたが、健闘むなしく上位入賞には届きませんでした。来年は上位入賞を目指して頑張ります!



ブースの様子



当社の精鋭4人衆です(笑)

RFSカップ少年サッカー大会開催予定

日時：平成26年7月5日(土)~6日(日)

場所：むつ市大畑町あさひな丘陸上競技場

少年達がボールを追掛け走り回る季節がやってまいりました。むつ市大畑町あさひな丘陸上競技場において、第8回RFSカップ少年サッカー大会を開催します。今年も県内各地から24チームが集まり、熱い戦いが予想されます!

下北地区からも、多数のチームが参加されますので、熱いエールをお願いします!



昨年の試合風景(元気いっぱいです!)



ファイトだ!
むつイレブン!